



友達はコメントをつけることもできません。そうすると、「この発言をだれが読んでくれたのかを知ることができません」。

これだけ書くと、フェイスブックをされていない方は「何が楽しいの」と思われるでしょうが、実は大きな意義があるのです。一つは情報収集。他人の持っている情報を得ることができません。そしてもう一つ、交際範囲が広がります。「面識のない友達」であっても、フェイスブックでの会話から「今度会いましょう」という話も発展し、真正正銘の友達になるケースも多くあります。もっと分かりやすく言うと、「現代版井戸端会議」なんです。

実は、本当に利用していただきたいの

は高齢の方たち。共通の趣味などがある方と友達になり、機会を見つけて実際に会う、なんてことが今後増えてきそうです。

舌や頬を咬む

日頃の診療で舌や頬を咬むと言われる方に良く出会います。自分自身も経験することがあるので、そのつらさ、と言うか苛立ちはよく分かります。さて、なぜこのようなことが起こるのでしょうか。

そもそも歯は、頬と舌に囲まれた狭い空間に位置しています。それでも日常的に舌や頬を咬まないのは、上の歯並びが下の歯並びよりも外側（頬側）に出ており、頬を巻き込まないようになっているからです。

さて、頬などを咬みやすい人はどうなっているかというと、歯並びがあまり良くなく、上の歯のガードが弱い人たちののです。ですから、一本だけ上の歯が内側に入っていたりすると、その場所だけよく噛むということが生じるのです。



他にも原因はあります。どこか痛い歯があったりしていつもと違う噛み方をしたり、新しい入れ歯を入れた時なども生じます。これらも、通常と環境が変わってしまったために頬が巻き込まれてしまうのです。自然と治るものも多いですが、気になるようでしたら一言お声掛けください。